



おきさちこさんのコラム ナチュラルな暮らしを楽しむ

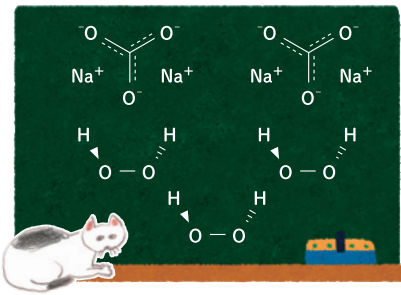
その 4 レッツ化学! 酸素系漂白剤で「エシカル消費」

「エシカル(倫理的)消費」。環境への配慮や社会貢献を考えた消費活動のことで、石けん生活をされる方は、このような基準で商品を選ぶ方も多いでしょう。自分だけではなく地球にも良い!という感覚、楽しいですね。消費は経済活動の源です。商品を購入することで、それを作る会社を応援し、間接的に社会貢献できます。

気温と湿度の上昇とともに、「除菌」「カビ」「臭い」対策で漂白剤のCMを目にすることが増えますね。今回は、「**酸素系漂白剤**」のご紹介です。読み方は「さんそ系漂白剤」(「こうそ系」ではなく)です。使い方は今まで何度かご紹介していますが、今回は暮らしの様々な場面で応用できるよう、理論的な話をします。

酸素系漂白剤は、文字どおり、酸素を汚れや色素、細菌の細胞膜などに反応させることで、相手の分子を切断し破壊します。

身近なのは、傷口を消毒するオキシドール(過酸化水素水)でしょうか。酸素を反応させることを「酸化」と呼びます。「酸化・還元」って理科で習いましたよ



ね?洗濯も掃除も料理も、家事はほとんどが化学反応に基づくものです。おもしろいですよね(えっ、面白がってるの私だけ?)。

細菌が死んだかどうかは、見た目ではわからないけれど、シミやカビが取れたら、色素が分解したことが一目でわかります。素晴らしいのは、酸素が、汚れやシミの色素だけに反応すること。色柄ものもくっきり!というのはこのためです。塩素系漂白剤は、色も柄も全部落ちて真っ白になってしまうし、ステンレスマグなど

に使うと錆びるので不可と書いてあります……。

酸素系漂白剤のメリットは他にもたくさんあります。有害な塩素ガスや臭いが出ないこと、ぬるぬるせず、多少触れても安全なことです。洗濯、掃除、台所での漂白や除菌、消臭など、幅広く使えて、本当に便利です。劇薬の塩素系のように、スプレーしてすぐ効果が出るわけではないため、温度と時間の力が必要です。40度以上のお湯に溶かすこと(お風呂の残り湯がいい感じ)、がんこなものは30分~数時間漬け置きすることがコツです。

注意点は、特に顆粒タイプの場合、アルカリ性ですので、絹やウールには使用できないこと、金属と反応するため、触媒に金属を使う草木染めの衣類や、金属製のボタンやファスナーには使えないことくらいでしょうか。

さあ、酸素系漂白剤で、脇の下の汗ジミや食べこぼした果物のシミを落としてみましょう。布ナプの除菌にも使えます。魚をさばいた後は、まな板に酸素系漂白剤をふりかけ、キッチンペーパーを敷いてお湯をかけましょう。

酸素の力を理解して使いこなせるようになったら、地球と体に優しい暮らしも達人級。ぜひ一緒に♪

▶ <http://www.shabon.com/column/>

石けんや酸素系漂白剤、重曹を使った
おきさん流「石けん生活のススメ」は
ホームページでご覧いただけます。



興 幸子(おきさちこ)さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、公益社団法人日本アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザー、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー